



## 私の思い出写真館

### かいこう 再邂逅



**林原 行雄**

シティグループ・ジャパン・  
ホールディングス  
常任監査役



ウォートン・スクールの教室でサントメロ教授(右から2番目)と履修生。  
後ろで立つのが筆者(1974年)。

若きころ、第一勧業銀行の留学生として、米  
国ペンシルベニア大学ウォートン・スクールで  
MBA取得のため2年間学ぶ機会を得た。学生時  
代は庭球部活動に入れ込み十分勉強できなかつ  
たという悔いがあり、留学を機にとことん勉学に  
励んでみようと思立った。と言うと少々カッコ  
いいが、独身ながらアメリカン娘にさっぱりもて  
ない悶々たる日々を、何かもんもんに没頭することで紛  
らわせたかったという方が実態に近い。という  
わけで指導を仰いだのが同年配ながら精力的に  
研究成果を発表していた金融論のサントメロ教  
授であり、教授および門下生と撮ったのが右上  
の写真である。私以外の履修者は皆Ph.D.取得を  
目指す学徒で、講義は最先端の金融理論を批判  
的に論評することが要求される、大変厳しい内  
容であった。教授に紹介され、後にノーベル賞



マンハッタンのイタリア・レストランでサントメロ夫妻と筆者(2012年)

を授与されるモデリリアーニ先生に、マサチュー  
セッツ工科大学(MIT)で昼食をごちそうになっ  
たこともあった。その時撮った「思い出の写真」  
をどこかでなくしてしまい悔恨極まりない。サ  
ントメロ教授の指導よろしきを得て、“Credit  
Rationing in Japan”と題する私の卒論は、教授  
と連名で『International Economic Review』と  
いう学界誌に掲載される榮譽を頂いた。誠に光  
栄であり感謝に堪えない。教授はフィラデルフィ  
ア連邦準備銀行総裁を経て、数年前米国のシティ  
グループ持株会社の取締役役に招かれた。その後  
に私は日本のシティグループ持株会社の監査役  
になり、くしくも師弟が同じグループで類似の  
責務を担うことになった。昨年ニューヨークに  
出張した際、久しぶりに教授夫妻と深夜まで大  
いに談論した、思い出に残る再邂逅が左下の写  
真である。上の写真にはもう一つの再邂逅があ  
る。写真左に座る女性がマレーシア中央銀行総  
裁のDr. Zeti Azizで、中央に座るのが当時から  
パートナーの夫君Dr. Tawfiq Ayman教授であ  
る。本稿が掲載される直前にウォートンの同窓  
会が東京で開催され、Zetiさん夫妻と40年ぶり  
の再邂逅をしているはずである。再邂逅また楽し。